

優良種苗確保事業

(環境森林部森林保全室執行委任)

辻井貴弘・富田ひろし・井面美義

円滑かつ適正な森林造成を推進するために、精英樹系統苗木等の特性を解明し、優良な種苗の供給を確保することを目的として次の事業を実施した。

1. 採種園・採穂園改良事業

採穂園・採種園の改良のため、不良木等の伐倒・搬出や補植等の樹形誘導などを行った。

2. カメムシ等防除対策事業

カメムシ類による球果被害を防除し、発芽率の高い優良種子を確保するために、本年度に採種を行う採種木に袋かけを行った。採種後の発芽試験において袋かけしたものとそれ以外のものとを比較したところ、表 1のとおりであった。

表 1. 種子重量及び発芽率

| 樹種 | 区分 | 重量(g/100粒) | 発芽率(%) |
|-----|------|------------|--------|
| ヒノキ | 袋かけ有 | 0.178 | 35.9 |
| | 袋かけ無 | 0.173 | 3.7 |

3. 品種改良事業

選抜された精英樹の遺伝的特性を検定するため、度会郡紀勢町柏野字藤ヶ谷の次代検定林(三西スギ8号・林齢30年)一志郡美杉村竹原字寺谷(ヒノキ三西8号・林齢30年)の次代検定林において全成立木に対し、樹高、胸高直径、根曲がり、幹曲がりの調査を行った。

4. 採種源整備運営事業

(1) 普通母樹林等整備推進事業

着果結実促進のため、次年度に採種を行う採種木にジベレリン処理を行った。

(2) 種子採種事業

種子を採種、精選し、スギ12.0kg(発芽率43.1%)、ヒノキ63.0kg(発芽率23.8%)の合計75.0kgを三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。

(3) 育種母樹林整備事業

採穂園、採種園を対象に下刈、施肥、整枝剪定、及びクローン苗木の養成などを行った。